



＼食品工場の課題を自動化で改善するノウハウが学べる新しい検定／

食品プロジェクトマネジメント検定

食品工場の課題を自動化を推進することで解決する活動を食品プロジェクトマネジメントといいます。食品工場の自動化を成功させるには様々な知識が必要ですが、中でも品質管理、会計管理、生産管理の3つの知識が必要不可欠です。自動化に必要な実践的な知識を学ぶことが出来る、これが「食品プロジェクトマネジメント検定」です。

学習から試験まで
WEBで完結

自動化によるDX化
実績あり

人材開発支援
助成金受給率
100%

こんなお悩みありませんか？

人手不足で
生産効率が上がらない

競争力を高めるための
技術革新が進んでいない

生産現場での労働力不足が
深刻化している

製造コストの削減が難しい



人材の育成が追いつかない

この**食品プロジェクトマネジメント検定**で解決できます！

人手不足解消

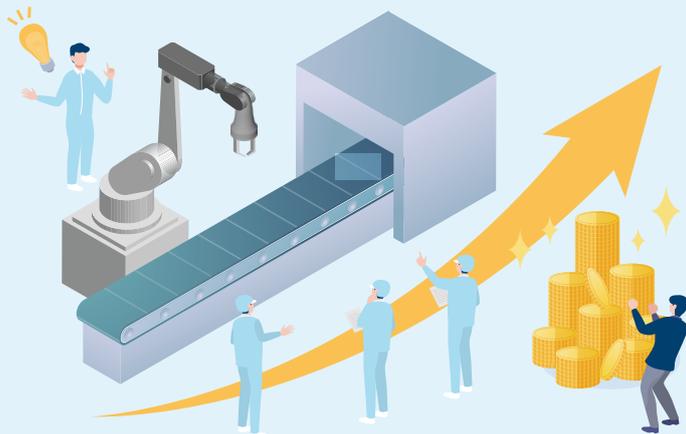
製造コスト削減

競争力UP

自動化を推進できる人材に

DX化で食品製造業界を次のステップへ

食品プロジェクトマネジメント検定導入による企業側の**メリット!**



1 人材の確保

1 検定試験を導入することは他社と差別化された福利厚生になります。受入教育時に検定を受けることで、一定以上のスキルを身に付け現場で活躍する人財になります。

2 従業員の教育・育成

2 従業員が自らカイゼンを起こすだけでなく、社内でカイゼン活動が広がり、従業員間の教育・育成に繋がります。

3 儲かる工場の実現

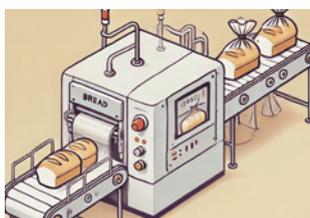
3 カイゼンのキーマンとなる人財が現場の課題を解決し、儲かる工場の仕組みを創ります。

1級合格者が検定合格後に実施したDX化による改善事例をご紹介します!!

事例1 包装工程をDX化



食パンの包装を手作業で行っていたため、一日に包装できる枚数が限られており、人員も多く必要だった。



自動包装機の導入により3名の省人化、生産量が1.5倍(1日あたり)に増加、不良品発生率が35%減少した。さらに機械の稼働状況や消耗品の状態をモニタリングすることでメンテナンス計画が自動化され、効率的な生産体制が実現した。

活用できる

人材開発支援助成金(厚生労働省)が使える!



《検定内容》	2級	1級
受検資格	なし	2級合格者
出題内容	食品工場の自動化に必要な品質管理・会計管理・生産管理に関する知識	
教材	教科書+解説動画	教科書+解説動画
標準学習期間	1カ月	1~2か月
受講期限	3カ月	
試験項目	オンライン:4択選択式、各分野50問	オンライン:4択選択式、各分野50問 実技試験:講習会参加、仕様書
合格基準	試験の正答率80%以上(全科目)	試験の正答率80%以上(全科目) 講習会に参加し課題を提出している
合格証明書	あり(オンライン配布)	あり(オンライン配布)
受験料	3万円	10万円
助成金	○ ※需給実績あり	○ ※需給実績あり
合格者の姿	食品工場の課題(DX化できる工程)がわかる	食品工場のDX化を実現させる中心人物

《受験までの流れ》

